

## 収穫体験統合冊子 ページ構成案

ページ	掲載項目	内容概要	ねらい・掲載情報 ※伝えたい内容
表紙		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル：手に取りやすいタイトル</li> <li>・写 真：親子での体験シーンの写真を大きく（季節感を出す）</li> <li>・デジタル連携：右下にQRコードを掲載し、デジタル版に誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>表紙で心をつかむ ～メインターゲットである子育て世帯を強く意識～</b></li> <li>・第一印象を重視。手に取ってもらえるように、親しみやすく温かみのあるデザイン。</li> <li>・タイトルの視認性を確保。</li> <li>・「練馬区の収穫体験情報」の冊子であることが、一目で分かるようにする。 ※ 農業者より、「現行冊子の表紙は、『収穫体験情報』であることが分かりにくい」との意見あり。</li> <li>・メインターゲットがスマホに親和性が高いことを踏まえ、「デジタル版がある」と気づかせるために、QRコードと簡潔な説明を掲載（少し目立たせる）</li> </ul>
P. 1	収穫体験の魅力紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の要素を盛り込んだストーリー仕立ての記事と写真           <ul style="list-style-type: none"> <li>①収穫中の親子の笑顔、②土に触れる楽しさ、③農家とのふれあい</li> <li>④家族での調理や食事（最後は「おいしいね」という笑顔で終わる）</li> </ul> </li> <li>・実際の参加者の声や農家のコメントも盛り込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>初心者ファミリーに向けて、「近所で楽しめる親子の手軽なレジャー」であることを強くアピール</b></li> <li>・共感性…読者が自分の家庭とイメージを重ねられるように</li> <li>・具体性…収穫体験の楽しい様子が具体的に分かるように</li> <li>・情緒性…小さな子どもを持つ保護者的心に訴えかける</li> </ul>
P. 2	農産物カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹・野菜それぞれについて、①いつ、②どの作物が収穫できるか、を一覧表示。</li> <li>・野菜や果物のイラストや写真をふんだんに盛り込むことで、カラフルな誌面にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>①今時期は何が収穫できるかが、一目で分かる（「今週末に出かけたいな」と思ってもらう）</b></li> <li>○ <b>②年間のイメージを持ってもらい、「次は何を収穫しようかな」と思ってもらう（リピーター化）</b></li> <li>・年間を通して様々な収穫体験ができることが概観できる（「たくさんあるね」というワクワク感）</li> <li>・季節ごとの楽しみ方を視覚的に提示</li> <li>・「次はこれを体験しよう」と計画を立てやすくする</li> </ul>
P. 3-18 (計 P. 16)	各農園の紹介 (果樹直売所も含む)	<p>〔収穫体験実施=56園、果樹直売しかやってない=19園〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫体験農園=1/4ページ=14ページ</li> <li>・果樹直売のみ農園=1/10ページ=2ページ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>最短で農園探しができるよう、農園ごとの情報を簡潔に掲載</b></li> <li>・読者が欲しい一次情報は、①近所の農園で、②いつ頃、何が収穫できるのか</li> <li>・二次情報は、予約方法、参加費、アクセス、トイレあり、直売あり等</li> <li>・ピクトグラムを多用し、すっきりした誌面に</li> <li>・農業者の人柄が垣間見えるコメントや写真（区民と農業者をつなぐ）</li> </ul>
P. 19	参加方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込から当日までの流れや、服装、持ち物など、初心者が気になることを掲載。</li> <li>・情報の閲覧や申込ができるツールとしてアプリを紹介（QRコードも掲載）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>「ここを読めば、初心者でも申込から当日までのことがだいたい分かる」という内容に</b></li> <li>・申込から当日までの流れ ※ メインターゲットがスマホに親和性が高いことを踏まえ、アプリでの予約の流れも掲載</li> <li>・服装、持ち物、雨天時対応など</li> <li>・注意事項やマナー（トラブル防止のため）</li> <li>・アプリで最新情報が得られることを示し、今後はアプリで最新情報を得るように誘導する</li> </ul>
P. 20	農園一覧	農園名、所在地、作物・収穫時期、主な体験内容、連絡先などを一覧表で掲載。地域別または50音順に整理。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>「巻末の索引」という位置付け。目的の農園の掲載ページをすぐに見つけられるように</b></li> <li>・目的の農園をすぐに探せるように整理して掲載</li> <li>・体験後に「別の農園にも行ってみたい」と感じたときに、ざっと調べることができる</li> </ul>
裏表紙		発行元（練馬区）の表記、問合せ先、発行年月、第〇版（今回は初版）、ロゴなどを掲載。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要事項をもれなく掲載</li> <li>・版を重ねたときに困らないよう、時点がはっきり分かるようにする</li> </ul>

※ 全体デザインのトーンは「親しみ+自然+温かさ」を軸に、特に子育て世帯に向けてビジュアル・導線を工夫。

※ 農園一覧は何度も見返す前提で、検索性・視認性を重視。

※ 2ページ分（改定案：24ページ）の余裕を持たせている（冊子は4ページ刻みになるため、24ページにする必要がある）。